

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	日常生活の中で、ほとんどの方が楽しみにしているのは「食べること」です。老化による口腔機能の低下もあると思いますが、食べる力(かむ・飲み込む)を維持でき、いつまでも美味しく食べることが出来るように支援していきたい。	口腔ケアの継続と、口腔機能を維持することで、最期まで美味しく、楽しく、安全に口から食べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後、その方の習慣や能力に合わせ歯磨きの声掛けや見守り、必要に応じ介助を行う。</li> <li>・夕食後は義歯を洗浄液につける。</li> <li>・食事前に嚥下体操を行う。(あいうべ体操)</li> <li>・午後の余暇時間に軽体操と一緒に歌を歌うなど、楽しく口の体操を行う。</li> </ul>	12か月
2	41	自分から水分を希望される方は少なく、水分を提供しても残される方もいる。一日を通して必要な水分が摂取できるよう、一人ひとりに応じた支援をしていきたい。	一人ひとりの嗜好や状態、習慣にあった支援を工夫し、必要な水分摂取量が無理なく確保でき、健康を維持することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの一日の水分摂取量を把握する。</li> <li>・一人ひとりの嗜好を確認する。(種類・温度等)</li> <li>・起床時・毎食時・10時・15時・入浴前後等の定時の他にもこまめに水分提供をする。</li> <li>・飲みたい時に飲めるように、飲み物とコップをテーブルに準備して、様子を見ながら置き場所や容器について検討していく。(飲み過ぎないように見守る)</li> <li>・カップはその方にあった大きさ・重さの物を使用する。</li> <li>・飲み物が苦手な方には、食べる感覚でゼラチンや寒天を工夫したり、水分を多く含む食品等を提供する。見た目も工夫してみる。</li> </ul>	12か月
3					か月
4					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。